特別委員会Q＆A

平成20年度予算審査特別委員会が3月17日、18日、19日の3日間にわたり開催され、一般会計から水道事業会計までの11会計の新年度予算について活発な審議を行いました。

予算審査の過程の中で、各委員から質問のあった事項の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

【一般会計歳出】

総務費

滞納整理機構について

Q滞納整理機構への委託と成果について、どのように考えているのか。

A平成20年度に滞納整理機構へ引き継ぎを予定しているのは、平成19年度と同様の17件である。徴収の目標は、先進事例である渡島管内の滞納整理機構の事例をもとに見込んでおり、負担金の約1．6倍を見込んでいる。

ハザードマップについて

Qハザードマップの作成委託料について計上しているが、具体的な内容について聞きたい。

A水防法の改正により、都道府県が管理する中小河川も対象になった。町内では途別川が対象となっており、平成20年度、町でハザードマップの原図を作成する。

燃料費の高騰への対応は

Q各施設等の燃料費について、原価が高騰しているが、設定した単価が低く、業者の経営を圧迫するような状況になっていないのか。

A各施設等の燃料費の単価については、町内業者から実勢価格などを調査し、十勝管内の状況も踏まえ、業者の代表と十分に協議をし、随時、単価を設定している。

民生費

乳幼児医療の助成について

Q住民ニーズの高い乳幼児医療の助成が拡大されたが、今後はどのように考えているのか。

A北海道が今年10月より、入院に限り小学6年生まで助成を拡大する予定であり、本町でも合わせて助成したい。

ねんりんピックについて

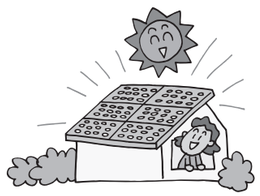
Q来年実施されるねんりんピックについて、どのような大会となるのか伺う。

A平成21年9月に、第22回北海道札幌大会が開催される。参加人数は観客も含め、50万人といわれ、スポーツ交流会や文化交流会を合わせて21種目が全道16ヵ所の市町村で行われ、十勝管内では、幕別町がパークゴルフ、芽室町がゲートボール、帯広市がテニスの会場となる。20年度には、本町でも大会の実行委員会を立ち上げ、パークゴルフや観光、健康増進などPRしていきたい。

太陽光発電について

Q新しいさかえ保育所に太陽光発電パネルを設置したが、その効果について伺う。

A昨年3月から本年2月までの1年間で、発電量に対し概ね26％の売電を行っている。額については、30万円ほどである。地球温暖化対策に取り組む意味から、新たに建設する施設があれば検討したい。



衛生費

ごみカレンダーについて

Q今年4月からごみカレンダーが変更となったが、なぜ従来のカレンダーから変更したのか。

A新しいカレンダーに変更する際、主婦の方など約80名が参加した住民説明会を開催し、意見を聞いた。参加した方からは、新しい方が見やすいなどの意見が大半を占めたことや、経費的にも、これまで印刷に約220万ほどかかっていたのが30万となり、地球温暖化対策の省資源化から、紙の使用量も減らす意味で新しくした。

労働費

季節労働者の雇用対策は

Q季節労働者の雇用対策について、十勝北西部通年雇用促進協議会が発足したが、その活動内容等について伺う。

A昨年、発足した十勝北西部通年雇用促進協議会の主な業務は、セミナーの開催や、人材バンクの登録、相談業務等である。

予算審査

3月17日～19日（3日間）

平成20年度 予算

人材バンクへの登録は、現在参加する6町村で53名の方が登録し、求職に関わる情報を提供している。

相談員が企業を訪問し、通年雇用に向けてお願い等を行っている。年度末では5名の方が通年雇用をされ、本町からも、1名が通年雇用に結びついた。

農林業費

幕別ダムについて

Q幕別ダムの利用状況等について伺う。

A幕別ダムは、国営の畑地灌漑排水事業としてダムが造られており、灌漑受益面積は900haとして整備されているが、現在、721haで、この水を使い農作物を作っている。このダムの水を使い、水を多く必要とする、玉ねぎの作付が増えてきている。

商工費

白銀台スキー場について

Q白銀台スキー場が、平成19年度より小学生などを無料とし利用者が増えたように感じるが、どのような状況か。

A昨年に比べ1日当たりの人数、収入とも増えている。

Q人口降雪機の導入について、町の考えは。

A人口降雪機について、検討し試算した結果、導入には約2億5千万から3億円の費用がかかり、今の財政状況では難しい。また、単に人が来ればいいのではなく、受け入れ態勢の充実も図る必要があると考える。

土木費

公営住宅について

Q札内地区の公営住宅の公募状況について伺う。

A札内地区の公募状況は、平成15年が約9．1倍、平成18年が約6．4倍、平成19年が約5．7倍と段々下がっている状況にある。

消防費

広域化への取り組みは

Q消防組織法の改正で広域化が提案されているが、どのような取り組みをされているのか伺う。

A協議会を設置し検討している。重点目標として、消防本部の広域再編、消防救急無線のデジタル化、消防司令業務の共同運用について、調査研究を行っている。

教育費

札内中学校の耐震工事は

Q札内中学校の大規模改造事業の概要について伺う。

A平成20年度の予算として、2億1千9百万円を計上している。平成21年度には、1億9千7百万円を予定しており、合計約4億1千6百万円の事業である。

内容については、耐震構造改修工事、外断熱外壁工事、屋根の葺き替え、床改修、トイレの改修等を行う。

新築の場合は約10億円強の費用がかかるが、今回の改修で少なくても20年は使用できると考えている。

【一般会計歳入】

滞納金の徴収について

Q税や各種使用料等の滞納金について、収納率向上のために、どのような対策を行っているのか伺う。

A平成14年1月から収納率向上推進本部を設置し、税や各種使用料等を担当する職員が集まり、相互に連携を図り、迅速かつ効率的な徴収に取り組んでいる。休日の納税相談や、夜間の臨戸訪問等、継続的に実施し、口座振替の促進等を実施している。18年にはコンビニ納税を実施し、19年には税滞納整理機構の設立・参加に取り組み、20年度からは、インターネットオークションにも取り組む。

【後期高齢者医療特別会計】

制度の周知について

Q高齢者の方には、この新たな制度について不安等がたくさんあると思うが、どのように周知をしてきたか伺う。

A広報やホームページ等で周知し、出前講座では、これまで21回、800名の方に説明をした。この後も6回、200名程の申し込みがある。今後も同様に周知に努め、パンフレットも配布したい。